



## O・Z MSW MSW27

巧みな切削デザインが、スポークの伸びやかな曲線を強調する

文：河原良雄

O・ZレーシングはF1やWRC、ル・マン24時間レース、DTM、インディ 500など数多くのモータースポーツステージでウィニングホイールとして名を馳せていることで知られる。そのテクノロジーに裏打ちされた高性能設計に加え、イタリアならではのデザインセンスの良さに定評がある。とはいえ、一般ユーザーにとっては、そのラインナップが大径サイズがメインゆえに“高嶺の花”だと思われることも事実である。

そんなO・Zファンに「リーズナブルな価格で気軽に楽しんで欲しい」と展開しているのがMSWである。この普及版O・ZたるMSWはイタリア本国では1985年にスタートしている。ターゲットはざっくり若者で、当初は2ピースホイールも揃えていたという。O・Zジャパンを通じて本格的に日本に導入されたのは10年ほど前からである。

現在のメインモデル、MSW27のデザインは曲線を持たせたダブル5本スポーク。とはいえ、そこはO・Z。スポークデザインにこだわりが随所に感じられる。ポイントはカラーリングの妙にある。マットダークチタニウムポリッシュドというブ

ラック系をベースに切削を加えていることだ。イタリア本国には切削なしのバージョンも用意されているのだが、そのルックスの違いに驚かされる。切削によってスポークが際立ちその曲線が強調されているのである。

スポークも巧みにアレンジされている。付け根であるセンター部はキャップまでぎりぎりにスポークを持ってこることで、スポークを長く見せることに成功。切削部分はセンター側を細く、リム側を太くすることで広がり感を演出している。さらにリム切削をスポーク部で一旦カットすることでそれを強調しているのである。切削を加えることによって可能としたアレンジなのだ。

MSW27はMINIへの装着をイメージして開発したと言うだけあって、PCDは112をメインとする。ゆえにフォルクスワーゲンゴルフやメルセデスベンツAクラス、2シリーズをはじめとしたBMWの最新コンパクトモデルにもフィットする。ほかにも、従来のMINIクロスオーバー用(PCD120)やフランス車用(PCD108)と、広くカバーしている。サイズは17、18インチだから

一般的にはインチアップで、上級グレードならセイルリムとなるだろう。

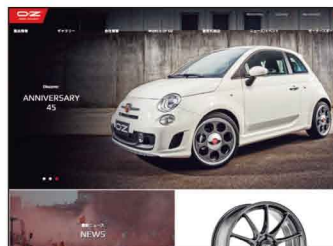
もうひとつのMSWがX4だ。MSW27の4H版とも言うべきダブル4本スポーク。グロスブラックポリッシュ+切削だが、そのスポークはエッジを持たせた直線ルックとすることで力感を醸し出している。サイズはO・Zで唯一の16×6.0Jが基本で、smartやルノーノートウイング専用15、16インチも揃える。コンパクトカー定番のPCD100をメインに、フィアット500用の98も用意。そのためホンダフィットやマツダデミオなど、日本車にも広く対応していることも見逃せない。

MSWなら“高嶺の花”にも手が届く。O・Zクオリティは意外にも身近な存在なのである。



### MSW X4

MSW27とは異なり直線とエッジを基調にしたスポークデザインである。コンパクトカー用をメインにラインナップし、PCDは100-5Hと98-4Hを用意する。●カラー：グロスブラックポリッシュ ●価格：3万3480円～3万8880円



O・ZのHPがリニューアルした。ここでMSWやスパルコなどの製品も探すことができる。



### MSW27

構造：アルミ鋳造1ピースホイール  
カラー：マットダークチタニウムポリッシュ  
価格：3万6720円～4万3740円(1本)  
HP：<http://www.oz-japan.com>